第209号
2022年（令和4年）4月26日発行

議会だより おおいそ

３月定例会

予算審査・・・2～9

入学おめでとう

（関連記事24ページ）

３月定例会

３月定例会は、２月14日から３月16日までの31日間の会期で開きました。

本会議初日は、専決処分の承認が２件、条例改正６件、補正予算４件、人事案件２件の14議案を原案どおり可決し、諮問３件を異議ない旨答申しました。

令和４年度予算は、予算特別委員会を設置して審査した結果、一般会計を否決、その他の会計を可決しました。

最終日は、議員から提案された一般会計予算修正案が可決、その他３特別会計及び下水道事業会計予算案を原案どおり可決しました。（修正案についての詳細は、８ページをご参照ください。）

また、決議案２件、意見書案１件も可決されました。

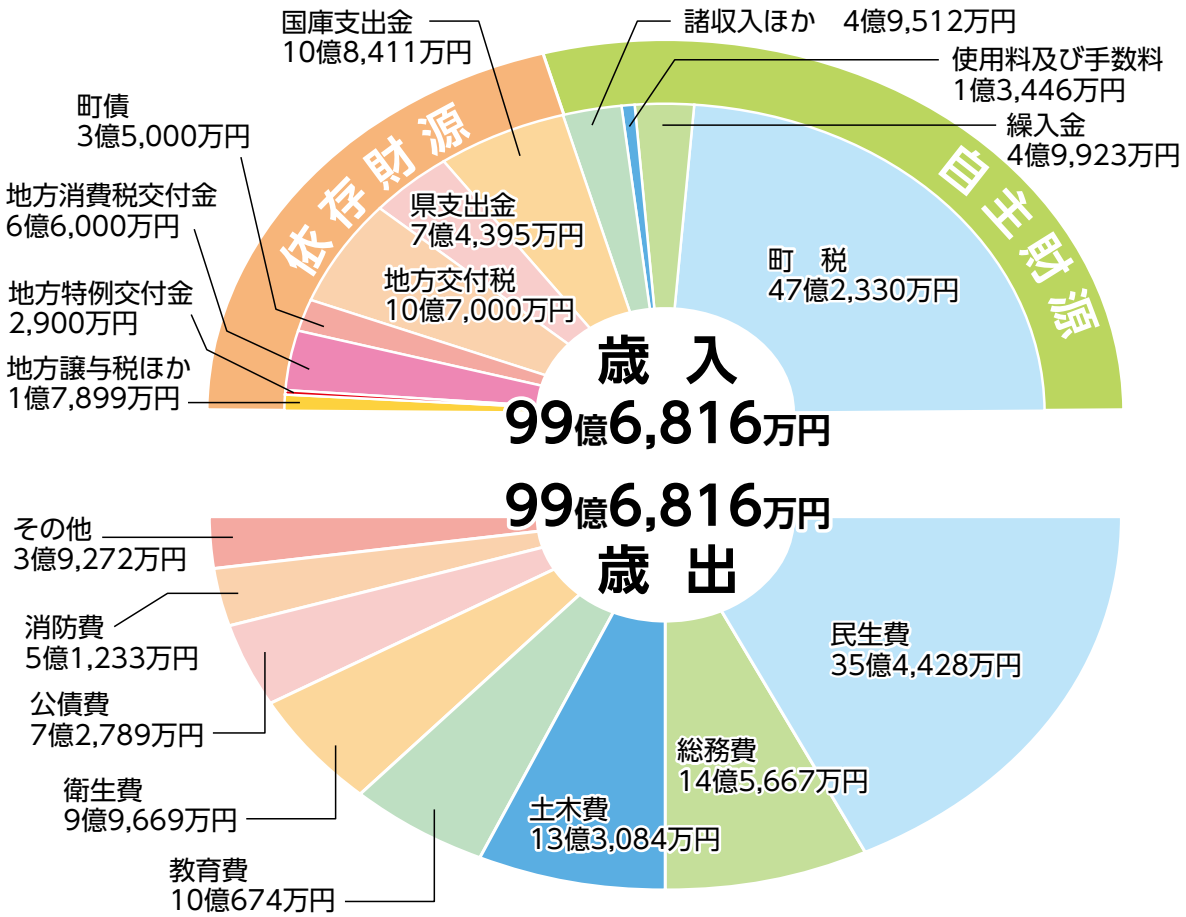
一般質問は、８人が町長や教育長に行政事務についてただしました。

令和４年度　各会計予算

会　計　別	予　算　額	前年度比
一般会計	99億6,816万円	6.8%減
国民健康保険事業特別会計	34億6,900万円	3.4%減
後期高齢者医療特別会計	11億　200万円	3.4%増
介護保険事業特別会計	31億4,500万円	0.9%減
下水道事業会計 （収益的支出及び資本的支出の合計）	26億3,349万円	3.8%増

金額は、１万円未満を四捨五入

令和４年度予算　一般会計予算　修正案で可決



令和４年度の主な事業

情報化推進事業

2,895万円

社会全体のデジタル化への流れに伴い、行政手続きのオンライン化や業務のデジタル化を促進していく。

新庁舎整備事業

1億9,229万円

令和７年度の利用開始を目指し、新庁舎整備に向けた基本計画・基本設計の策定を進める。

幹線28号線歩道整備事業

7,581万円

県道63号から東海大学大磯病院入口までの歩道整備を行うことにより、歩行者の安全確保等を図る。

小学校給食調理業務事業

2,973万円

町立国府小学校の給食調理業務の委託料。委託先はプレゼンテーションにより選出。

学校昼食運営事業 中学校昼食支援補助金

5,231万円

コロナ禍における保護者負担軽減のため、町立中学校に通う全生徒に対し一食あたり昼食費300円を補助。

教育普及・企画展事業「(仮称)明治150年記念冊子」作成委託料(令和３年・４年度継続事業)

1,759万円

小・中学生を対象とした大磯を中心とした近現代史についての冊子3,500部の作成委託料。

町長の考えを問う

2月21日の本会議において、7人の議員が町長の令和4年度施政方針に対し、質疑を行いました。

施政方針を述べる中﨑町長

町長は、令和4年度予算の提案理由として「これまで積み重ねてきた取組みを礎とし、より発展させていく、『創始継志』を胸に町政運営に臨んでまいります。」と所信を述べました。

令和4年度重点的取組み

子育て　教育　健康　経済　安全・安心　＋　DX

住みたい、住み働きたい、いつまでも住み続けたいまち

※DXとは、デジタル・トランスフォーメーションのこと。

新庁舎の場所は適切か

飯田　修司

問　新庁舎については、案の段階において、建設場所の問題に少し時間をかけてでも、町民の意見を一度まとめてみる必要があるのではないか。

町長　町内の土地について比較検討した結果、立地条件などのほか新たな建設地を求めることは、用地購入が事業費を膨らませることになるため、現敷地を建設地として選定している。

中学校給食方針は詭弁

吉川　重雄

問　令和4年度町長の施政方針「中学校給食について」、㈠「弁当を持参することが難しい生徒に希望注文制で弁当を提供すること」㈡「コロナ禍で保護者負担の軽減のため、中学校の生徒に対し昼食費の補助として生徒一人当たり300円を支給すること」は公約として述べてきた「中学校給食の実現」と言えるのか。施政方針で述べた「中学校給食について」は詭弁ではないか。

町長　この事業は教育委員会が実施した経緯があり、現在中学校給食休止の暫定的な措置である。

心配の声にどう応える

吉川　諭

問　地域包括支援センターの機能不全、大磯幼稚園こども園化、新庁舎の建設場所、公共施設の統廃合、中学校給食の実現など心配の声が聞こえるが、令和4年度予算の中でどう応えるのか。

町長　住民に通じ合う町長と自分では自負している。町民の信頼の上に立って町政を進めることが何よりも重要だ。

問　庁舎の建設場所はアンケートでも心配の声が多い。令和4年度に議論の場はあるのか。

町長　議員がまた元に戻って話をされる意味合いは理解しかねる。

7人が総括質疑

【文責は本人】

大磯駅前のJR課題は

鈴木　京子

問　大磯駅前の安全・安心は、当初の町の考えから離れたが、それでも進めるのか。JRとの課題は解決したのか。

町長　町民の意見を考慮した。東側の民有地も含めた区域にした。離れたとは考えていない。JRから理解、協力を得られる状態になった。

問　JRは土地を売却したい意向があるが、その話はどうなったのか。

町長　用地取得の有無にかかわらず、計画の実施は賛成を得た。用地取得についても決着する見込み。町道認定の問題は、いずれ議会に話をする。

事業の全体像を示して

渡辺　順子

問　大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業予算は1億2300万円であるが、事業の全体像や期間、事業費概要などを示さないまま進めるのか。

町長　駅前広場整備費概算は2億3200万円、令和4・5年で設計、6年度から工事予定。

問　それは駅前広場の整備や土地の買収、建物移転などで事業の一部である。事業全体計画は駅周辺の道路整備も含まれている。今後事業費は膨らむ。町民合意が必要だ。

町長　確かに駅周辺という話をしていない。駅前整備は一つの通過点だ。

主な重点的取組みは

奥津　勝子

問　子育ての連絡機能と管理機能をもつ保育アプリの導入とは。

町長　園児の登園時間やお迎えの時間が記録でき、保護者から欠席連絡を受ける機能の導入により、職員の業務負担を軽減し、保育活動に専念する時間が増える。

問　教育では、教員の働き方改革として、業務効率の向上を目的としたICT化の検討とは。

町長　新たに配置した情報化推進担当と連携を図り、教育のデジタル・トランスフォーメーションを目指す。

駅前整備計画最終案は

石川　則男

問　駅前整備計画の最終案について町民の理解を得るべくどのように進めていくのか。

町長　最終案は昨年広報おおいそ9月号やホームページにも掲載などして、多くの方々に計画を知っていただくよう周知を図ってきた。

問　広報9月号には一番お金のかかる電柱の地中化が記載されていない。大切なのは町民の理解を得ることでありその上で事業を進めてほしいが。

町長　駅前広場に関する情報提供や話し合いは今後も必要があればやっていく。

予算審査 主な質疑内容

議案第15号 ～ 議案第19号

予算特別委員会を設置し、令和４年度予算５議案を５日間に渡り、慎重かつ厳正に審査した結果、一般会計予算を否決・３特別会計（国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業）・下水道事業会計予算を可決しました。

総務

職員研修事業 186万円

問　どのような職員研修を考えているのか。

答　ハラスメントの防止研修のほか、文書事務や行政法、次代のリーダーを育成する研修。また、育児休業等の研修を実施する予定。

防災

防災組織等育成事業 96万円

問　防災組織等の育成について令和４年度の目標はどのようか。

答　防災講演会等を検討。セーフティーリーダーの養成講座では、令和４年度も女性の参加をお願いしていきたい。

地域協働

コミュニティ（自治会）推進事業 724万円

問　認可地縁団体申請促進補助金30万円の内容は。

答　認可地縁団体は地方自治法に明記されている自治会や町内会を法人化したもの。法人化のための申請等に係る司法書士・行政書士などへの報酬や手数料に対する補助、法務局へ登記する場合に係る経費の補助をする。

問　認可地縁団体になることのメリットは。

答　区長が変更するたびにかかった地区所有の土地の登記費用がかからなくなる。また、一般財団法人からの助成を受けることができるようになる。

子育て

保育園運営事務事業 2608万円

問　保育対策総合支援事業費補助金の内容は。

答　保育環境改善等事業として新型コロナウイルス感染拡大予防のための衛生物品を町内保育所等に配布。ＩＣＴ化推進事業として国府保育園の運営に保育アプリを導入するためのタブレット通信料、保育アプリ使用料、保管庫等の購入費である。

問　保育アプリ導入による保護者や保育士のメリットは何か。

答　欠席等の連絡、園からのお知らせの配信、登降園時間の記録をアプリで行うことで、保護者の利便性向上と保育士業務の効率化を図る。

福祉

団体育成事業 2020万円

問　社会福祉協議会への運営費補助金1500万円の内容と根拠は。

答　運営するための人件費にあたる部分を補助金として出している。予算については例年並みで計上している。

スポーツ

武道館維持管理事業 139万円

問　修繕費が令和４年度は49万5千円と令和３年度の約10倍になっている根拠は。

答　消防庁舎の雨漏りの影響で壁のブレスカバーが傷んでいるところがあり、その修繕の費用。

健康

がん検診推進事業 3096万円

問　検診の内訳は。

答　集団検診の胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、また施設検診の胃がん、肺がん、大腸がん、口腔がん、子宮頸がん検診の委託料となっている。

妊娠出産前支援事業 1773万円

問　妊産婦の健診費用の助成として40万円計上されているが。

答　妊婦健康診査が61回分、産婦健康診査が30回分を計上している。母子健康手帳交付時に補助券を渡している。

都市計画

大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業 1億2384万円

問　用地取得の相手先との交渉状況は。

答　地権者に調査の進捗状況などを説明し、契約のタイミングや移転時期などの話を継続的に行っている。

問　駅前広場実施設計業務委託の内容は。

答　標識や路面標示の検討など車道部分の道路設計、交通島の縮小などロータリーの設計を行い、東側交差点の改良設計、南側の歩道設計、上屋などの施設設計を行う。このほか店舗や交番、観光案内所の移転先の敷地割やこれらの水道等の基盤施設などの設計を含む。

下水道

管渠（かんきょ）費 4085万円

問　長谷川の護岸について整備を望む声を聞くが、令和4年度に対応は考えているか。

答　下水道事業会計の修繕費の中で護岸の修繕費用を計上している。金網状のかごに大きな石をつめて護岸を保護する工事を考えている。

問　下水道についての点検はどのようなものを行っているのか。

答　汚水のマンホールポンプの点検、工場排水などの定期的な水質検査、汚水量を計る計器の定期点検、国府橋下に敷設されている管の点検、三沢川と長谷川の草刈りとしゅんせつ業務の費用である。

ごみ

ごみの分別及び減量化推進事業 201万円

問　町として一人当たりの1日の排出量という目標は立てているが、なかなか追いついていない。具体的な方策や考えはあるのか。

答　一般廃棄物処理基本計画の改定作業の中で調査した結果、家庭から出る可燃ごみ全体の約36％が生ごみという結果だった。水を切って総重量を減らすことや、コンポストの設置など、ご自宅での作業が必要である。電動生ごみ処理機の予算を令和4年度は増額した。町民に楽しんでやっていただくための周知と啓発が必要と考える。

消防

消防庁舎維持管理事業 573万円

問　修繕料136万円の内容は。

答　消防署（本署）の2階トイレが度々つまるため配管を全部入れ替える工事を行う。

問　消防署の築年数は。

答　47年である。

常備消防運営事務事業 492万円

問　消防庁舎移転について令和4年度に何か予算立てしているか。

答　消防審議会委員報酬を計上。町長の諮問機関でもあるこの審議会の中で消防庁舎の建て替えも含めて今後の方向性を協議していく。

教育

学校昼食運営事業 5771万円

問　中学校昼食支援補助金5231万3千円の内容は。

答　新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済的負担と給食休止に伴う家庭の負担を軽減するため、在籍生徒が登校する日に一人当たり1日300円補助する。

問　小学生は月額3000円、中学生は日額300円という補助の額の差をどう説明するか。

答　小学生への補助金は給食費の上昇分を町が負担するもの。中学校は現在ランニングコストがかかっていない点で各家庭への負担が大きいため日額300円の補助と考えた。

学校施設・設備維持事業 1870万円

問　大磯中学校3号館のトイレ工事430万円の内容は。

答　和式トイレ21基のうち3基を洋式ウォシュレット機能付きのものに変え、すでにある洋式8基をウォシュレット便座に改修する。さらに換気扇をつける改修も行う。

図書館維持管理事業 1011万円

問　修繕料130万円の内容は。

答　2階展示コーナーの壁紙張り替え工事、空調機加湿モジュール交換工事、電算室空調機交換工事の3件。

石川議員他5名

一般会計修正案、令和４年度予算に対する附帯決議案を可決

大磯駅周辺 安全・安心にぎわい創出事業 １億２，３８４万円を削除

石川則男議員ほか５名から、「議案第15号令和４年度大磯町一般会計予算に対する修正案」が提出されました。「原案には賛成することはできないが、暫定予算になることは最終的には町民の利益にならないという思いから反対理由の中で多くの議員が挙げた大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について再考が必要」との理由で、修正案が提出されました。また当初予算案が可決後、予算の執行に当たって、十分留意するよう令和４年度に対する附帯決議案が提出され、可決しました。

提案者への主な質疑

問 予算委員会の中で、十分審議を尽くしていない事業をなぜ全部とる減額修正なのか。

答 昨年の９月議会で指摘された事項が反映されていないこと、また最終案について町民に説明する考えがないという町の進め方が問題であると考える。

問 一旦立ち止まってと考えているようだが、相手のあるもの。事業が白紙に戻ることも覚悟しての提案か。

答 ＪＲとは、ほぼ話がついていると答弁している。民間所有者については、経済合理性が重要だと思うが、所有者が白紙を望むのであれば強制はできない。

問 ６名の中での議論の経過はどのようか。この事業を外した後はどのようにするのかという議論はあったか。

答 意見交換の際にこれだけは全員が手を挙げた。議員は予算の執行者ではないので、どのようにするか考えるところではないと思う。

今回の予算審査の流れ

町長から予算案の提出

本会議
２月21日
予算特別委員会へ付託

予算特別委員会
２月28日・３月１日・３日・４日
予算審査
討論・採決
一般会計 否　決

本会議
３月16日
一般会計修正案を提出
質疑・討論・採決 **可決**
附帯決議案を提出
質疑・討論・採決 **可決**

予算特別委員会のようす

予算特別委員会

委員長　吉川　諭
副委員長　玉虫志保実
委員　清田　文雄
吉川　重雄
二宮加寿子
鈴木　京子
髙橋　英俊
鈴木たまよ

令和４年度予算に対する附帯決議

町は、令和４年度予算の執行に当たって、下記の事項について十分留意するよう要望する。

１．新庁舎整備事業については、２０２１年８月に大磯町が津波災害警戒区域に指定されたこともあり、現敷地内への建設を不安に思う町民も多い。現敷地が安全であるならば、エビデンスをもとに町民の理解を得られるよう、丁寧に説明すること。

２．学校昼食運営事業の中学校昼食支援補助金については、補助金支給に至った経緯、支給金額、支給対象、支給方法についての決定理由や根拠を議会に詳しく説明し、充分理解を得ること。

３．地域包括支援センターの業務委託及び大磯町社会福祉協議会への支出について、補助金、交付金などについては契約通り実施を求めること。特に、地域包括支援センター業務において、直営なども視野に入れること。

４．大磯幼稚園の幼保連携型認定こども園化については、保護者等近隣住民に対してしっかりとした情報の提供と十分な説明を行い、理解を得たうえで選考委員会を発足すること。

予算特別委員会での討論

※委員会での討論のため、「委員」と掲載しています。

一般会計に反対
3特別会計及び下水道会計に賛成

【玉虫志保実委員】

一部の住民の利益のために奉仕していると見受けられる事業や事業の優先順位に対する疑問、理解しがたい事業等々矛盾も多くこのまま執行されることに賛成できない。

一般会計及び介護保険会計に反対
2特別会計及び下水道会計に賛成

【吉川重雄委員】

一番驚いたのは築47年の消防庁舎。命に係わる問題に真っ先に活動する消防職員の環境があまりにひどい。また介護保険は、地域包括支援センターの問題なくして賛成するわけにはいかない。

全会計に賛成

【髙橋英俊委員】

財政において返済額が借入額を上回ったことで、一般会計と下水道事業会計を合わせた公債費の当該年度末残高が前年度比約1億500万円減となったことは大きく評価する。

全会計に賛成

【二宮加寿子委員】

来年度は経済回復も見据えた重要な予算である。未来に希望のもてるSDGsの視点を意識して、持続可能で快適な生活が進められ行政運営に力を注いでいただくことを望む。

本会議での討論

修正案に反対
原案に反対

【玉虫志保実議員】

労働環境の改善が進んでいないことやタイミングのよかった人が得をするような補助金の交付方法に矛盾を感じる。駅前も予算を全額削減することにも違和感がある。

修正案に反対
原案に賛成

【清田文雄議員】

事業主体となる町が歩みを止めてしまったら、この事業に協力的に動いてきた方々は何と思うだろう。修正案が採択されることにより、町からこの事業提案ができなくなってしまう。

修正案に反対
原案に賛成

【奥津勝子議員】

駅前の用地買収の交渉は、順調に進んでいると考えるのが妥当。駅前広場整備の予算をここで否決すると、町の将来に計り知れないほどの大きな影響が生じてくると考える。

修正案に賛成
修正部分を除く原案に賛成

【鈴木たまよ議員】

町民に対して説明等が進まない中、行政のやり方がある、職員がたくさんの時間と労力をかけてきたという理由では賛成できない。透明性の高い行政運営をお願いしたい。

修正案に賛成
修正部分を除く原案に賛成

【渡辺順子議員】

賛否両論、いろいろな意見がある。もっと以前からそういう意見をたたき合わせて駅前をどうするのか考えるべきだった。この事業は駅前広場だけでなく、道路の拡幅など全部が含まれる。

修正案に賛成
修正部分を除く原案に賛成

【吉川諭議員】

この予算を認めることは、町の現在の計画を認めることになり、受け入れることはできない。さらに言えば、予算さえ通ればよいという考え自体が間違いであると指摘させていただく。

修正案に賛成
修正部分を除く原案に賛成

【鈴木京子議員】

修正案を提案するということは、認められない事業の執行も認めることになる。じくじたる思いはあるが、暫定予算回避のために修正案を除く原案に賛成することを決断した。

修正案に賛成
修正部分を除く原案に賛成

【石川則男議員】

多くの議員が言うように、進め方がおかしい。大切なこと、町民が求めていることはなんだろうか、そこを考えない限り、どんな事業をしても町民の理解や協力は得られるはずがないと思う。

議案第3号

大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

町では既に「高齢者」・「障がい者」・「児童」等に係わる「福祉計画」を策定していますが、これらの上位計画として、行政や保健・福祉等の関係機関と住民が一体となって支え合うことができる地域の仕組みづくりを目指す「地域福祉計画」策定のため附属機関として新たに「大磯町地域福祉計画策定委員会」を設置するものです。

質疑

問 「地域福祉計画」はいつまでに作るのか。

答 計画は令和4年度中に策定し、令和5年度からスタートしたい。

問 17名の委員の内訳は。

答 学識経験者1名、公募町民3名、民生委員・児童委員2名、区長会1名、社会福祉協議会1名、町内の福祉法人・福祉施設3名、平塚保健福祉事務所1名、地域包括支援センター1名、中郡医師会大磯班1名、その他町長が必要と認めるものを含めて合計17名である。

問 公募町民3名の選ぶ基準は。

答 広報等で公募をかけた中でエントリーシート及び論文をもとに行う。

問 近隣市町のこの計画の策定状況は。

答 近隣市町はほとんどができていると認識している。

問 各地域の実情に合った課題や問題解決をするための協議体は骨子の中に入るのか。

答 まだ案の段階だが、つながり事業等も記載したい。

討論

反対

【吉川重雄議員】

本来ならばもっと前に実施されていなければならない。今ごろ出すというのは納得できない。またメンバー構成にも納得できないので反対する。

賛成

【渡辺順子議員】

この会議を附属機関に位置付けることは非常によいと思う。地域の課題は多様化、複雑化してきているので遅すぎるくらいである。構成メンバーについては、町の中で現実的に対応できるメンバーなのかしっかりと把握して構成していただくということで賛成する。

議案第4号

大磯町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

人事院から妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために、非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和等に係る事項の見直しが示されたことを踏まえ、仕事と家庭の両立がしやすい環境整備を進めるため条例の改正を行うものです。

質疑

問 育児休業を申請して認められなかったことはあるか。

答 なかったと思う。

問 25条の「職員に対する育児休業に係る研修の実施」については。

答 先ず職員にこの制度について知ってもらう。また幹部職員には取得しやすい環境をつくっていただくために、まずは知ってもらえるような研修を行っていきたい。

討論

賛成

【清田文雄議員】

地方公務員の育休が伸びない中、より育児休業が取りやすい環境が整うものと思い賛成する。

議案第5号

大磯町特別職職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、学校運営協議会を設置するに当たり、学校運営協議会委員の身分が地方公務員法に規定する非常勤特別職に該当することから、その報酬を規定するため条例の改正を行うものです。

質疑

問 学校運営協議会設置の経緯は。

答 学校だけで解決できない課題等があり、地域とともに課題解決していくのが学校運営協議会設置の趣旨である。

討論

賛成

【吉川諭議員】

地域の専門的な知識や経験を持った人と学校運営を考えるのは望ましいので賛成する。

【吉川重雄議員】

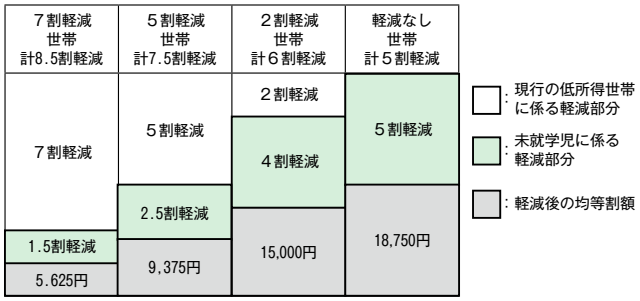
反対すると無報酬になるので賛成する。

議案第6号

大磯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令が公布されました。これに伴い、国民健康保険税について、未就学児に係る均等割額を減額する制度が創設されたことから、条例の一部を改正するものです。

未就学児一人当たりの均等割額
※均等割額は医療給付費分と後期高齢者支援金分の合算



質疑

問 均等割をゼロにすることについて法的な問題はあるか。

答 法的に問題があるとは理解していない。

問 子育て応援の立場から、国保の運営協議会等で考えていただきたいが。

答 減免等については、今後も国の意向等を確認した上で、また運営委員会の意見を伺いながら改正を進めていきたいと考えている。

問 国が対象を未就学児とした趣旨は。

答 子育て世代の負担軽減において、初めて財源を国あるいは県で補填するという制度が確定した。対象者を18歳以下にしてほしいとの要望は出されているが、財政補填を考えた中で未就学児となった。

問 国保均等割課税減額対象未就学児の見込み人数は。

答 7割軽減は44人、5割軽減は25人、2割軽減は25人、軽減なしは66人で合計160人と見込んでいる。

問 軽減額の計はそれぞれいくらか。

答 7割軽減は24万7500円、5割軽減は23万4375円、2割軽減は37万5千円、軽減なしは123万7500円、合計209万4375円と見込んでいる。

議案第7号

大磯町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

大磯町消防団員の処遇の改善を図るため、年額報酬の単価について整理を行い、また、災害出動し、職務に従事した消防団員に対する出動報酬を創設する。そして、費用弁償の支給区分の見直しと、消防団員の服務規律について所要の改正を行うものです。

質疑

問 今までの規則を条例として定める理由は。

答 本町ではこれまで規則で定めていたが、消防組織法に基づいて条例に位置付けるべき内容であったため、今回併せて記載した。

問 必要なものが足らないということがないようにすべきでは。

答 今後必要なものは予算要求をしていく。

問 近年の災害等での出動状況は。

答 令和2年度では風水害の出動が2件、火災の出動が3件である。

討論

賛成

【奥津勝子議員】
危険を伴う出動に少しでも報えたらと考え、賛成する。

【清田文雄議員】
団員の報酬が1人当たり3万6500円を支給していくことになったこと、出動手当てが報酬になったことはよいので賛成する。

質疑

問 損害補償を受ける権利を担保に小口融資を受けている人は。

答 いない。

問 本年4月1日から借りられないということになるが周知は。

答 分団長会議等を通じて周知を図る。

議案第8号

大磯町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律による地方公務員災害補償法の一部改正に伴い、株式会社日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫が行う恩給担保貸付事業のうち、年金たる補償を受ける権利を公庫等に担保に供するものが廃止されるため、規定の改正を行うものです。

議案第1・2号

専決処分2議案を承認

令和3年11月19日の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の閣議決定に伴う、国から5万円の現金給付とクーポン券の発行を基本としながらも、クーポン券に代えて現金で給付すること、また合わせて10万円の現金一括給付することが自治体の判断により可能となり、子育て世帯への臨時特別給付金の迅速な給付に向けた準備を進めたものです。

住民税非課税世帯及び長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、住民税非課税世帯と同額の水準まで収入が減少した世帯に対し、1世帯当たり10万円の現金給付を行い、速やかに生活、暮らしの支援を行うため、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の迅速な給付に向けた準備を進めたものです。

質疑

問 給付の対象児童は。

答 児童手当受給者で、年収が960万円以下の世帯、0歳から高校3年生までのお子さん4749名。

問 支払い方法は。

答 口座に振込みをする。

問 振込日は。

答 12月23日に口座に振込みをしている。

問 いろいろなケースがあったと思うが、それ以降振込みされているのは。

答 1月31日に公務員の方と高校生の方を対象に59件振込みをしている。対象人数は85人分である。

また2月9日にも、公務員の方と高校生の方を対象に275件で400人分の振込みをしている。

質疑

問 町内の住民税非課税世帯数は。

答 予算は約3040件予定していたが、実際に確認書を発送したのは2700件である。確認書の記載事項を確認、署名していただいた後、町に提出していただく。その内容を町が確認し10万円を給付する。

問 繰越明許費とあるが、令和4年度のいつ頃まで給付できるのか。

答 確認書を発送した世帯には、3か月以内に申請いただくよう案内している。

また、それ以外の家計急変等の世帯や未申告の方については、令和4年9月30日が申請期限となっている。

人事案件を承認

議案第9号・10号

諮問第1号～3号

教育委員
曽田（そだ） 成則（まさのり） 氏
（73歳・相模原市）

教育委員
トーリー 二葉（ふたば） 氏
（60歳・大磯町東町）

人権擁護委員
山口（やまぐち） 圭子（けいこ） 氏
（65歳・大磯町国府本郷）

人権擁護委員
竹内（たけうち） 清（きよし） 氏
（74歳・大磯町生沢）

人権擁護委員
永樂（えいらく） 和子（かずこ） 氏
（70歳・大磯町高麗）

補正予算を可決

議案 第11号～第14号

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に２億5,575万円を追加し、予算の総額は、131億197万円となりました。また、国民健康保険事業特別会計は歳入歳出の総額に118万円を追加、後期高齢者医療特別会計は歳入歳出の総額に121万円を追加、介護保険事業特別会計は歳入歳出の総額に3,080万円を追加する補正予算が可決されました。

令和３年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計	131億197万円 （２億5,575万円を追加）
国民健康保険事業特別会計	36億6,540万円 （118万円を追加）
後期高齢者医療特別会計	10億2,625万円 （121万円を追加）
介護保険事業特別会計	34億2,291万円 （3,080万円を追加）

金額は、１万円未満を四捨五入

一般会計補正予算（第７号）の主な内容

歳　入	
普通交付税	３億391万円
保育士等処遇改善臨時特例交付金	1,123万円
町有地売払収入	△1,369万円
歳　出	
自立支援給付費	5,000万円
放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金	211万円
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金	882万円
学校保健特別対策事業費補助金【小中学校費】	720万円

一般 普通交付税 ３億391万円 増

質疑

問　普通交付税の増が３億円超になったのは、なぜか。

答　今回の普通交付税の増額については、国の令和２年度の国税の決算、令和３年度の国税収入が当初予定の上振れをして税収が多かったことで、税収増のうち約４兆３千億円が地方交付税として増額され、増額分の一部が地方交付税の再算定に回されたため。

一般 町有地売払収入 1369万円 減

質疑

問　町有地の売却を取りやめた場所とその理由は。

答　当初予算計上していた場所は、国府新宿の西長谷川の旧町営住宅跡地で、９６７０万円を計上していたが、今年度執行しなかった。

また、令和３年４月に西小磯古屋敷の町営住宅を８３５０万円で売却できたため、当初予算との差額、１３６９万円を計上した。西長谷川については、地域密着型の高齢者施設の設置を今後検討していくため、売却から外した。

一　般

放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金 211万円
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金 882万円 増

質疑

問　補助金の内容、対象者は。

答　新型コロナウイルス感染症への対応と、少子高齢化の対応が重なる最前線で働く保育士等の処遇の改善をしていくもの。学童保育支援員、公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等の保育士、幼稚園教諭等の分を計上している。

問　保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金の公立園の対象人数は。

答　大磯幼稚園、たかとり幼稚園、国府保育園、子育て支援センターに勤務する保育士・幼稚園教諭、教育支援員、給食調理員、技能労務員の会計年度任用職員55名が対象である。

問　放課後児童支援員、保育士等に月額いくら処遇改善費として支払うのか。

答　令和4年の2月分の給料から、月額約9千円、収入の約3％程度上乗せした金額を処遇改善費として支払っていく。

後期・国保

特定健康診査事業 118万円
後期高齢者健診推進事業 121万円 増

質疑

問　後期高齢者医療の健診、受診者の見込み増と国民健康保険の健診受診者の見込み増ということで、かなり受診者が増えたのか。

答　後期高齢者の健診については、当初1800人を見込んでいたが、1900人分に増額している。国民健康保険の施設健診は、当初730人を見込んでいたが、850人分に増額している。

問　健診へ行き体調を整えたいという方が増え、重症化するリスクが少しでも減ると思うが、どのように捉えているのか。

答　健診を受診している方と受診していない方の医療費を比べると、国民健康保険で月額約2万円、後期高齢者医療で月額約3万円差が出てきている。早期発見で重症化を防げていると認識している。

議案に対する各議員の賛否結果一覧表

議案はこちら

議案番号	議案 ＼ 議員名（議席順）	清田文雄	吉川重雄	石川則男	吉川諭	二宮加寿子	奥津勝子	鈴木京子	玉虫志保実	飯田修司	髙橋英俊	柴崎茂	鈴木たまよ	渡辺順子	竹内恵美子	結果	掲載ページ番号
1	専決処分の承認を求めることについて	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	10〜12
2	専決処分の承認を求めることについて	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
3	大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	—	可決	
4	大磯町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
5	大磯町特別職職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	—	可決	
6	大磯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
7	大磯町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
8	大磯町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
9	教育委員会委員の任命について	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	—	可決	
10	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
諮問第１号	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	異議ない旨答申	
諮問第２号	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	異議ない旨答申	
諮問第３号	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	異議ない旨答申	
11	令和３年度大磯町一般会計補正予算（第７号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	13・14
12	令和３年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
13	令和３年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
14	令和３年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
15	議案第15号　令和４年度大磯町一般会計予算に対する修正案	●	○	○	○	●	●	○	●	○	●	欠	○	○	—	可決	2〜9
	令和４年度大磯町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	—	修正部分を除く可決	
16	令和４年度大磯町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
17	令和４年度大磯町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
18	令和４年度大磯町介護保険事業特別会計予算	○	●	●	●	○	○	●	○	●	○	欠	○	○	—	可決	
19	令和４年度大磯町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
意見書案第１号	東海大学医学部付属大磯病院の継承に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	16
決議案第１号	ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に断固反対し、平和的な解決を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
決議案第２号	令和４年度予算に対する附帯決議	●	○	○	○	●	●	○	○	○	●	欠	○	○	—	可決	

○は賛成　●は反対　欠は欠席　—は議長が賛否に加わっていない

みなさんの陳情はこうなりました

番号	件　名	提出者	要　旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第14号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川私学助成をすすめる会 代表　長谷川　正利	支援金制度の拡充により滞納率は減少しているが、学費負担軽減と自治体間格差解消を目指し、国に対し意見書の提出を求める。	福祉文教	趣旨採択の立場：子どもたちが望む教育を等しく受けられる世の中が必要だが、学費だけあげれば解決するのかという疑問もある。 **趣旨採択** （採択１、趣旨採択３、不採択２）
第15号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川私学助成をすすめる会 代表　長谷川　正利	神奈川県の私立学校への生徒一人あたり経常費補助は、小中高いずれの校種でも国基準を下回っている。私学助成の一層の充実を図るよう、県に対し意見書の提出を求める。	福祉文教	趣旨採択の立場：県の助成は全国的に見れば下位のほうである。陳情者のいう趣旨については理解できる。 **趣旨採択** （採択１、趣旨採択３、不採択２）
第1号	福祉センターの「おおいそ福祉会」退去後の新たな使用に関する陳情	特定非営利活動法人ソーシャルファーム大磯 理事長　添田　正直	公の資産を貸す行為には議会の議決が必要。次のステップに向かう方策の決定過程を、行政が公正かつ民主的に進めるよう、議会にチェックをお願いしたい。	福祉文教	趣旨採択の立場：陳情の趣旨についてはその通りと思うが、前段階の陳情の経緯については、全部を受け入れられない部分がある。 **趣旨採択** （採択１、趣旨採択４）

※趣旨採択：「願意は理解できるが、実現性の面で確信がもてない」といった場合に採られる決定の方法。
どなたでも陳情書や請願書（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問合せください。
※提出締切日（６月定例会分）５月23日（月）午後５時まで。

意見書を提出しました

※意見書案、決議案の全文は、15ページのQRコードからご覧ください。

意見書案第１号　東海大学医学部付属大磯病院の継承に係る意見書

大磯町に存する東海大学医学部付属大磯病院が、令和５年２月28日に事業を終了し、同年３月１日付けで医療法人徳洲会に事業が引き継がれることに伴い、事業継承が滞りなく適切に進み、「地域医療の空白」が生じないよう、神奈川県においては所定の手続きが円滑に行われるよう、強く要望する。

決議が可決されました

決議案第１号　ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に断固反対し、平和的な解決を求める決議

ロシア軍が一方的にウクライナの東部地域に侵攻し、軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めたことに伴い、ロシア政府に対し断固抗議するとともに、ジュネーブ条約をはじめとする、戦時国際法の下に、ロシア軍に対し、ウクライナ市民の生命と財産及び自由を脅かす軍事攻撃の即時中止とウクライナからの完全撤退を求める。また、関係国政府においては、一日も早い平和的解決に向けた外交努力に尽力するよう強く求める。

※３月16日提出のため「キーウ」を「キエフ」と表記しています。

決議案第２号　令和４年度予算に対する附帯決議

内容は、８ページをご覧ください。

議会だよりを音声でお聴きいただけます。

今号から、「録音ボランティアひびき」ご提供のもと、議会だよりおおいその音声版（CD）を発行します。CDは、町立図書館に配架します。また、ご自宅でお聴きになりたい場合は、議会事務局へご相談ください。

大磯町議会のホームページが新しくなりました。

見やすい、親しみやすいホームページをめざし、今回ホームページのリニューアルを行いました。

これからも皆さんに大磯町議会の情報をわかりやすくお知らせしていきますので、ご利用ください。

四季により、雰囲気が変わります。現在は「春」仕様です。

町政のここが聞きたい

一般質問

２月２４日・２５日に８人の議員から１８問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。
詳細は会議録・ホームページ・ＤＶＤ（図書館貸出）をご利用ください。

本会議では、新型コロナウイルス感染症対策のため、飛沫感染防止板を設置し開催しました。

【文責は本人】

大磯町教育ビジョンの行動計画は

教育の目指す理想の姿

二宮加寿子

問　**大磯町の教育ビジョンの体制・行動計画は。**

町長　大磯町教育の目指す理想の姿を示すもの。

教育長　第五次総合計画前期基本計画や大磯町教育大綱他、関連計画と整合性を図る。社会情勢の変化、町民関係機関等から御意見をいただき策定していく。方向性として、町が育てたい子ども像を定め大磯でしかできない、大磯だからできる教育を実施し、教育で人が集まる町づくりを最終目標として、実現に向け基本指針を策定していく。令和４年度、町立幼稚園・小学校・中学校にコミュニティスクールを設置し、地域と共にある学校づくりを目指し、必要な支援を実施できる体制を作り上げていきたい。

問　**いよいよ機会を得、期待している成果は。**

答　先生方が子どもたちと向き合える時間が増え、学校だけでは解決できないことを専門的な視点で協力いただきたい。

問　**学習支援のタブレット端末の通信費の補助は。**

答　今後話があれば考えていかなければならない。

問　**学校で夏休みに学習支援など設けられるか。**

答　新たな取組みが生まれることに期待する。

地域と共にある学校づくりを

社協職員の話を聞き 今後の改善は

公募も視野に指導する

吉川重雄

問　町社協で働いている方より手紙が届いた。内容は、多くの町民に指摘されている大磯町社協の在り方は、町民軽視、職員軽視の疑問を感じる運営だ。地域福祉を担う公益法人として適切とは思えない経営姿勢である。

先般の町議会の便りを読むと大磯町長は、町社協に何らかの指導をすると記載があったが、何も変わっていない。一年近くも町議会で問題視されているのに、大磯町社協のトップは、広報紙やホームページで町民にメッセージを発することなく、だんまりである。私達職員が町民利用者を訪問すると、何かと問われるばかりである。町社協の職員の雇用は短期雇用で、トップが気にくわなければ更新せず、解雇された職員が抱えていた町民利用者は無視、誰かまた応募してくれるから採用すればいい、それでまた解雇の繰り返しで信用性はない。町民利用者からは、「また人が変わったのか。」「半年間誰も来ませんでした。何していたの。」と問われ続けているとのことを聞き、町長はどう指導改善するのか。

町長　公募による選考等も視野に指導していく。

大磯町社会福祉協議会

町はどのように 信頼回復するのか

公募による選考を検討

鈴木たまよ

問　大磯町社会福祉協議会の委託元として、今後どのように問題を解決し、町民の信頼を回復していくのか。

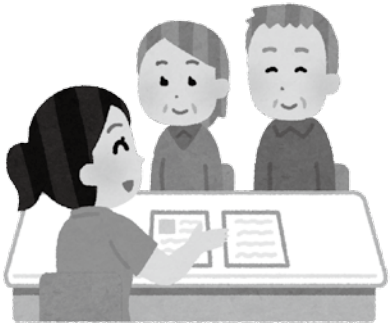
町長　今回、地域包括支援センターの全職員が退職する事態が発生したことで、利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけした。今後安定した運営を行うためには様々な計画をきちんと取り、また安心して働ける職員体制を構築するためにも、複数年にわたる委託契約や職員の雇用安定、また高齢者の増加に伴う事業規模の見直しなどの課題を整理し、令和5年度からは公募による選考等を実施していきたいと考えている。

問　令和4年度はどのように運営していくのか。

答　町との連携を強化して協力体制をとりながら、契約や仕様書の内容等について再度見直しを行った中で委託契約を行っていきたい。例えになるが、最悪、人員不足が生じた場合は、直営で運営することも考えていきたい。

その他の質問

○大磯町立幼稚園民営化について


円滑な運営が望まれる

黒岩公民館建替え 要望への対応は

今の場所は問題

石川則男

問　黒岩公民館建替えの課題は。

町長　土砂災害警戒区域の中に指定緊急避難場所があることは問題。順次危険が想定される区域内での避難所指定の解消を目指していく。また、移転候補地が市街化調整区域であり、農地であることから関係する法令等課題を地区の方々と整理している。

問　黒岩公民館建て替えを進めるに当たり、町は全面的な応援をするか。

町長　黒岩公民館の移転は、災害対策として地区の方々と町が協働して取り組む最初の事例である。町は地域の方々と今後も話し合いを重ねながら、円滑な建て替えの実施に向けてしっかりと支援していく。

社会福祉協議会について

問　包括支援センターがこの居宅介護支援事業所とは契約を結びたくない、ここは結ぶということが許されるのか。

答　契約を更新するよう申し入れている。今年の2月21日に法人にいって話もした。

問　いつまでに回答をもらうのか。

答　期限はきっていない。年度内に話が無ければ再度話し合いにいく。

黒岩公民館

町所有財産の 町民への還元は

当初目的に沿って活用

飯田修司

問　万台こゆるぎの森の土地等の購入に際して、町民への早期の還元が大事と考えるが、町民の共有の財産として開放し、理解と納得が得られるようにできないか。利活用について、町はどのように考えているのか。当初の目的に沿って活用が図れているのか。

答　どのような点が納得を得られていないのか、具体的に述べていただければ、学校法人国際学園に話をしていく。

問　2千万円の固定資産税額に対して賃料が年間900万円、その差額の中には何を含んでいるのか。

答　賃料としては適正な計算に基づいて算出。

問　町は買って貸しているだけ。森をこのようにお使いくださいという広報が一度もないが。

答　現在も散策だけではなく、さまざまな交流メニューという形で事業を行っている。

問　駅前洋館は保存も必要だが、町民が利活用して、初めて活かされるが。

答　来年度は新たな事業選定を予定。議員が言われるようなことを取り組んでいけるよう事業者を募集し、検討していく。

万台こゆるぎの森将来構想の全体図

東海大学大磯病院の継承の内容は

円滑な継承を望む

問　東海大学医学部付属大磯病院が令和5年2月28日で終了、翌日に医療法人徳洲会に引き継がれるということだが、官公庁の許認可の承認が条件とされる。

病床数、災害時の協定、病棟の新改築、産科や小児科の再開等を含め、見通しや手続きの協議はどのように進むのか、伺う。

町長　大磯病院は昭和59年の開設以来、急性期医療から在宅医療までにわたり医療の中核病院として役割を担ってきた。地域医療の円滑な継承を望んでいる。

新病院では、当面同病院の現行の診療体制は維持される。手続きは神奈川県で行われるので、県と連携していく。

医療の空白期間が生じないよう、関係自治体とも連携していく。

問　町長が産科の再開を選挙公約にしたこともあった。小児科は手術も可能だった。すぐには難しいと思うが、機を捉えて要望して頂きたいが。

町長　ハードルは高いが、形はとっていってほしいと思う。

その他の質問

○大磯町社会福祉協議会の体制強化について

○万台の開発手続きは

東海大学医学部付属大磯病院

福祉課長の発言は町長の指示か

彼の判断ですべきこと

問　大磯町の地域包括支援センターが上からの命令で、町内の一事業所と契約しないため関係者が困って町に相談しても返事がないと言っている。条例で、センターは適正、公正、中立な運営をしなければならない、と規定している。町はどのような対応をしているのか。

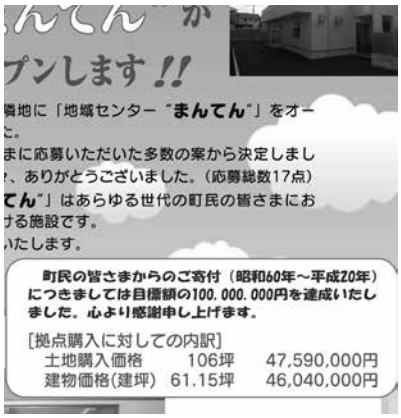
答　公平、平等にするよう社協に申し入れている。

問　令和5年度から包括の委託先を公募するようだが、正しい運営ができない社協は公募の対象に相応しくないと考えるが。

答　福祉の精神から公平、公正は基本であるが立証が難しいので現時点では問題がないと考えている。

問　苦情が来ているのが証拠である。「まんてん」建設で約1億円あった社協の基金は一時200万円程になった。県下の社協では考えられない額だ。「まんてん」はキャッシュも無い、レシートも出ない、と運営に疑問の声を聞く。議会の調査で会計が不明瞭だと指摘もある。諸問題を理事会で審議していただきたいが、理事の一人である福祉課長の発言は町長の指示か。

町長　理事会で課長の発言を指示したことはない。彼の判断ですべきこと。



「しゃきょうおおいそ」125号から抜粋

通学路安全対策の現状と対策は

点検結果に基づき対策

問　昨年12月に実施した通学路点検での危険箇所の件数は。

答　大磯小は31か所、国府小から25か所の危険個所が報告された。

問　件数が大分あるが対策の検討や進捗はどのように行われるのか。

答　報告されたすべての危険個所については、関係各課と連携し対策の検討や進捗状況の確認を行っている。

問　大磯小では、駅前観光案内所前が危険として、新たに二つの通学路を試行しているとのことだが。

答　駅前を通行しＪＲ東海道線沿いを通行するコースと、国道一号の消防署を右折しさざんか通りを通行するコースを設定した。

問　前より要望している県道大磯停車場線の拡幅の検討状況は。

答　県の整備主体となる平塚土木事務所と引き続き協議を行っていく。

問　大磯駅前整備により、児童の滞留空間ができ、高齢者や障がいを持つ方にとっても安全になると思うが。

答　ＪＲとの協議等を行いながら通行環境について安全対策の取り組みを進めていきたい。

大磯小通学路MAP（PTA作成）

議会報告会のお知らせ

（会場参加とオンライン参加での同時開催）

第１部　令和４年度予算について
第２部　事前質問への回答

日　時：５月14日（土）10時～12時
　　14時～16時
場　所：本庁舎４階第１委員会室またはオンライン
申込み：５月６日（金）～ ５月11日（水）（土・日除く）
必要事項（お名前・電話番号・参加希望回（午前・午後）を明記の上、議会事務局へお申し込みください。
① 会場参加は電話またはＦＡＸ
② オンライン参加はＥメール
定　員：会場２０人・オンライン９０人（先着順）
オンラインを希望の方は、事前にＺＯＯＭを利用できる環境のご用意をお願いします。

※感染状況により、開催方法が変更になることがあります。

令和３年11月議員報告会のようす

事前質問を募集しています。
5月9日(月)まで。

こちらからもお申し込み方法を確認できます。

■問い合わせ・申込み先
議会事務局　**ＴＥＬ**　0463－61－4100（内線292）　**ＦＡＸ**　0463－61－1991
Eメール　giji@town.oiso.kanagawa.jp

新庁舎建設等特別委員会の報告

新庁舎建設等特別委員会が令和4年2月3日に開かれ、第4回検討委員会書面会議の結果について、パブリックコメントに対する町の考え方、町民説明会での意見及び町の考え方、大磯町新庁舎整備基本構想（素案）から（案）への主な修正箇所について町から説明があり、多くの議員から質問がありました。

主な質疑

問 パブリックコメントを行う前に津波シミュレーション動画をホームページに公開したのか。

答 公開していない。

問 建設場所は町有地でないとだめというように読めるが。

答 現庁舎の場所が金銭面も時間的な面も含め最適であると最終的に判断した。

問 年間予算の約30％を使う時、町民に繰り返し理解を得ることが必要では。

答 時間を置かない中で、町民の皆さんに今の状況をお知らせし、意見を聞いていると認識している。

問 なぜ今必要なのか、なぜこの場所なのかという意見が根強いが、資料や情報提供が不足しているのでは。

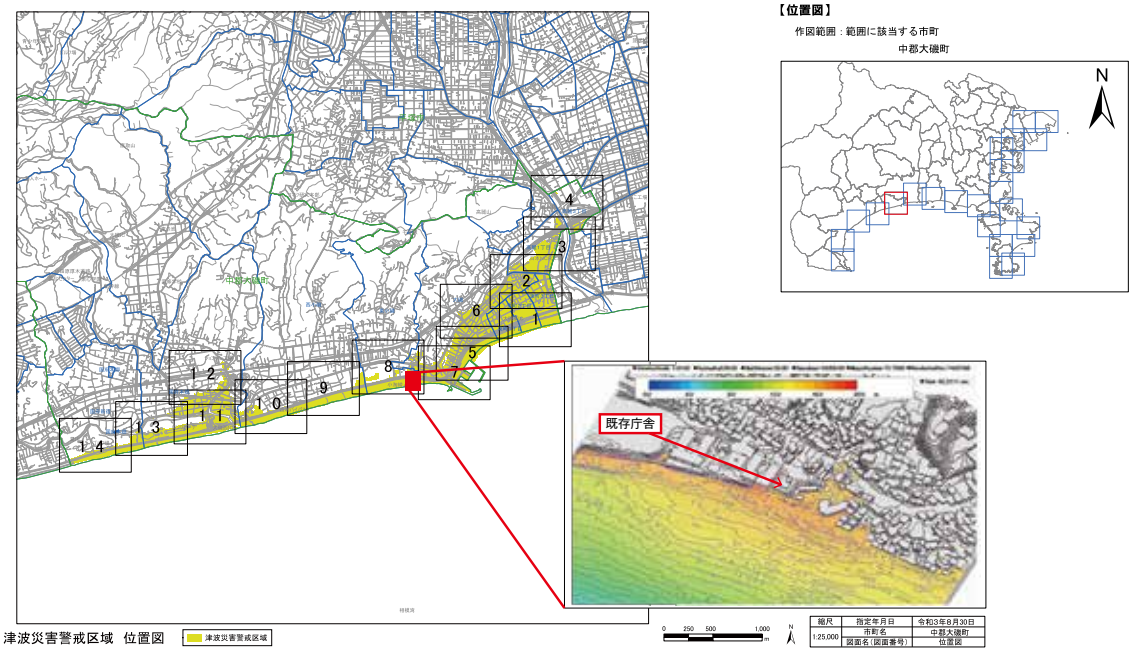
答 住民の方には広報やホームページを中心に情報提供をしていく。

問 本当に現庁舎の場所以外なかったのか。

答 津波を心配する方が多かったが、シミュレーションをした中で、しっかりとした安全性が確保できていることを町民の皆さんに伝えていきたい。

総務建設常任委員会の活動状況（閉会中の調査報告）

12月定例会の閉会中の所管事務の調査として、「津波シミュレーションについて」を調査事項に挙げ、1月28日に大磯町新庁舎整備基本構想（素案）で示された津波シミュレーションと神奈川県が策定した津波浸水想定図の比較について調査を行いました。



主な質疑

問 津波シミュレーションは、神奈川県が作成した津波浸水予想図の最大クラスの津波と相模トラフ沿いの海溝型地震の両方とも行ったのか。

答 神奈川県が行った津波災害警戒区域図と大磯町の津波シミュレーションの津波の想定は、相模トラフ沿いの海溝型地震西側モデルを基に町もシミュレーションを行っている。

海岸線から沖合30ｍの地点で津波の水位が約13ｍに達し、庁舎のほうに向かってくるという想定に関しても同じものである。

問 町民が理解しやすい情報提供が重要であり、それをしない限り理解を得られないと思うが。

答 この場所に庁舎を建てることに関して、安心だということをしっかりと分かっていただけるようシミュレーション結果を伝えていきたい。

福祉文教常任委員会の活動状況（閉会中の調査報告）

12月議会定例会の閉会中の所管事務の調査として、「大磯町社会福祉協議会への委託事業等について」を調査事項に挙げ、令和3年10月から延べ3回にわたる調査を行い、最終的に委員会から町長へ「大磯町社会福祉協議会の受託事業等に関する町の指導監督体制について」として申し入れを行いました。（内容は左記参照）

申し入れ書（抜粋）

社協に委託する地域包括支援センター事業に従事する職員７名全員が離職する事態が発生し、町民サービスの低下が懸念されたため審議を行った。その結果、町の指導監督が不十分な事例等が判明したことから、以下の点について委員会として要望する。

1．町が支出する公金の扱いについて、透明性の確保と説明責任が果たせるよう、社協が提出した書類について不明な部分があれば調査を行うこと。

2．委託事業は進捗状況を随時把握し、課題等があれば積極的に指導監督を行うこと。

3．上記は、本委員会に報告すること。

以上

主な質疑

問　地域ケア会議の位置づけは重要だと思うが、構成メンバーと職業は。

答　居宅介護支援事業所、ケアマネージャー、介護サービス事業所、医師会、行政関係者、平塚保健福祉事務所、民生委員児童委員協議会会長、障がい福祉関係の事業所等だが内容等で異なり、人数も決まっていない。

問　会議参加の条件は。

答　包括支援センターの事業委託として、社協に委託している会議になるが、参加条件については委託の中に記載していない。町から依頼している目的を果たすため、会議の参加者を決めるのは委託先に委ねられるが、目的が達成されるよう助言はしていきたい。

問　令和3年5月から包括支援センターに主任ケアマネージャーが一人もいないというが、その後の進捗状況は。

答　令和3年10月29日現在、一人の管理者が主任ケアマネージャーの講習に行っている。来月11月16日の最終講習会を無事修了し、配置されれば、3職種が揃うことになる。

問　町からの補助金１５００万円は人件費としては足りていない。他からの補助金は。

答　県の社会福祉協議会から約４２０万円、共同募金、介護事業のデイサービスの収入等全体の収入の中でやりくりしている。

問　社協に対し、監査を行っているのか。

答　大磯町の社会福祉法人は、神奈川県が所轄庁になるので、神奈川県が監査している。

問　県の監査結果について、社協から町へ報告があるのか。

答　報告はない。

問　理事会及び評議員会の議事録を作成し、誰もが見ることができるように透明性をもたせるべきでは。

答　議事録を閲覧できる対象者の条件はあるが、公開できる部分はしていくよう伝える。

問　包括支援センターの委託契約の中に職員の退職金相当分が含まれているか。

答　委託費として積算している中には人件費、法定福利費等を計上しているが、退職金相当分は計上していない。

問　生活支援体制整備事業の実績報告書の裏づけとなる会計の帳簿を確認しているのか。

答　補助金や交付金ではなく委託業務なので、計画や実績報告書から業務が行われていれば支払いをしている。帳簿は見ていない。

問　大磯町生活支援体制事業の地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけを行うとあるが活動グループは。

答　高齢者が活動している団体を順次インターネット上で「ＥＮばんく」として紹介できるようにしている。

問　朝の子どもの居場所づくり事業で、勤務する方が不足していると聞いたが、時給は。

答　社協の会報や町広報でも人材の募集をしている。時給は１０４０円である。

問　放課後児童健全育成事業、いわゆる学童保育の利用料を他の事業に使っているのでは。

答　事業の収支の中で保育料が収入として入っているが、法人がどのように利用料を運用しているかは知り及ばない。

問　町の税金を使って町民の安心な暮らしのために委託しているのに危機意識が少ないと思うが。

答　事業の中身、運営について精査し、内容を確認するのは必要な事項であり、支出の仕方についても町として把握すべき内容と理解している。今後も内容を精査した上で、委託料の支払いをすることを徹底していきたい。

※社会福祉協議会を「社協（略称）」と表記しています。

笑顔シリーズ

入学おめでとう

「笑顔というより、緊張感の記念写真になってしまいました」というお話しでした。

昔は男の子が黒いランドセル、女の子は赤いランドセルというのが定番でしたが、最近はランドセルもカラフルになり、好きな色やデザインのランドセルを選べるようになりました。その他にもデイパックなど、カバンの選択肢は多いです。

みんなと同じものではなく、自分の好きなものを選ぶことがスタンダードな時代の子どもたちの入学記念写真はかっこいいですね。

議会スナップ

１月14日に特定非営利活動法人　環境エネルギー政策研究所　飯田哲也氏を招き、「環境エネルギー政策について～エネルギーと地域の未来～」と題し、ご講演いただきました。

議会のうごき

12月
16日 議会運営委員会／議員全員協議会
23日 総務建設常任委員会協議会
27日 議会だより編集委員会

1月
11日 議会だより編集委員会
14日 議員研修会
17日 議会運営委員会／議員全員協議会
18日 議会だより編集委員会
19日 福祉文教常任委員会
24日 福祉文教常任委員会協議会
28日 総務建設常任委員会／総務建設常任委員会協議会
31日 議会運営委員会

2月
3日 新庁舎建設等特別委員会
4日 議会運営委員会／議員全員協議会／議会だより編集委員会
10日 福祉文教常任委員会
14日 3月定例会（議案審議等）
17日 議会運営委員会
18日 福祉文教常任委員会／議会だより編集委員会
21日 本会議（総括質疑）／議員全員協議会／予算特別委員会
24日 3月定例会（一般質問）
25日 3月定例会（一般質問）
28日 予算特別委員会

3月
1日 予算特別委員会
3日 予算特別委員会
4日 予算特別委員会
15日 議員全員協議会／議会運営委員会
16日 3月定例会（委員長報告等）／議員全員協議会／議会運営委員会

議会だよりの表紙を飾りませんか

テーマ：「笑顔」

応募期間：令和４年６月24日(金)まで受付
※応募上の注意や応募方法は、大磯町議会ホームページでご確認ください。
問い合わせ：大磯町議会事務局

６月定例会

６月２日（木）	議案上程等
９日（木）	一般質問
10日（金）	一般質問
17日（金）	委員長報告等

湘南ケーブルテレビ
地上デジタルＳＣＮ101
チャンネルにて放映

生放送９時～、
再放送は19時～

【編集後記】

３月定例会の内容をわかりやすく理解していただけるよう、委員一同知恵を寄せ合いまとめました。

春らんまんの新年度を迎え、私たち編集委員も新たな気持ちでより良い紙面づくりを頑張っていきたいと思っています。

５月14日土曜日は、議会報告会を開催します。皆さんのご参加とたくさんのご質問をお待ちしております。

【発行責任者】
議　長　竹内恵美子
【議会だより編集委員会】
委 員 長　玉虫志保実
副委員長　石川　則男
委　員　奥津　勝子
　　飯田　修司
　　柴崎　茂
　　鈴木たまよ
【オブザーバー】
副 議 長　清田　文雄

発行／大磯町議会　編集／議会だより編集委員会　〒255-8555　神奈川県中郡大磯町東小磯183　TEL 0463-61-4100（内線281）　FAX 0463-61-1991
ホームページアドレス　http://www.town.oiso.kanagawa.jp/　メールアドレス　gikai@town.oiso.kanagawa.jp